



## 2020年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年11月2日

上場会社名 株式会社アルテ サロン ホールディングス 上場取引所 東  
 コード番号 2406 URL <https://www.arte-hd.com>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 吉村 栄義  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営企画部長 (氏名) 坂口 満春 TEL 045-663-6123  
 四半期報告書提出予定日 2020年11月13日 配当支払開始予定日 ー  
 四半期決算補足説明資料作成の有無: 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年12月期第3四半期の連結業績(2020年1月1日～2020年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年12月期第3四半期	5,664	△9.5	△11	—	109	△66.5	△235	—
2019年12月期第3四半期	6,257	6.3	325	10.7	327	8.2	179	23.8

(注) 包括利益 2020年12月期第3四半期 △235百万円(—%) 2019年12月期第3四半期 179百万円(23.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年12月期第3四半期	△23.80	—
2019年12月期第3四半期	18.03	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年12月期第3四半期	11,031	2,633	23.9
2019年12月期	8,695	2,943	33.8

(参考) 自己資本 2020年12月期第3四半期 2,633百万円 2019年12月期 2,943百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年12月期	—	0.00	—	7.50	7.50
2020年12月期	—	0.00	—	—	—
2020年12月期(予想)	—	—	—	2.00	2.00

(注1) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

(注2) 配当予想の修正については、2020年10月28日に公表いたしました「2020年12月期業績予想および配当予想、株主優待実施内容の変更に関するお知らせ」をご覧ください。

### 3. 2020年12月期の連結業績予想(2020年1月1日～2020年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,930	△6.7	120	△76.6	250	△52.4	△210	—	△21.21

(注1) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 無

(注2) 連結および個別業績予想の修正については、2020年10月28日に公表いたしました「2020年12月期業績予想および配当予想、株主優待実施内容の変更に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年12月期3Q	10,300,000株	2019年12月期	10,300,000株
② 期末自己株式数	2020年12月期3Q	399,743株	2019年12月期	399,743株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2020年12月期3Q	9,900,257株	2019年12月期3Q	9,940,306株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する主旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(2020年1月1日～2020年9月30日)におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により、依然として厳しい状況にある中でも、持ち直しの動きが見られます。感染拡大の防止策を講じつつ、社会経済活動のレベルを引き上げていくなかで、各種政策の効果や海外経済の改善もあり、持ち直しの動きが続くことが期待されるものの、国内外の感染症の動向や金融資本市場の変動等の影響につき注視が必要な状況にあります。

美容室業界におきましても新型コロナウイルス感染症により顕著な影響を受け、当社グループ店舗におきましては、4月7日の緊急事態宣言の発令に合わせ、自主的に休業や営業時間の短縮等の対応を行った結果、4月月次単月の当社主要子会社の入客数が前年比32.8%、当社グループチェーンの全店売上高合計が前年比30.7%と著しく落ち込む結果となりました。5月7日以降順次営業を再開し、9月の主要子会社の入客数は前年比92.1%、グループチェーンの全店売上高合計は前年同月比93.0%まで持ち直しましたが、感染拡大への不安が続く中、消費者のすごもりや節約意識の高まりによりセルフカラーや来店間隔の長期化が進み、依然として厳しい状況が続いております。

当社グループでは、日頃からサロンの衛生管理を行ってまいりましたが、新型コロナウイルス感染拡大に伴い、環境衛生業としての社会的責任を果たし、お客様や従業員の健康を守るため、感染拡大防止策としてアルテグループ「3Sオペレーション」の徹底を図り、各社各店舗の状況に応じて感染症予防対策や衛生管理をより一層強化しております。店舗においては、お客様が安心してお越しいただけるようメニューの構成変更やキャンペーンの実施等を積極的に実施してまいります。

このような状況のなか、当社グループは、複数のブランドを展開し、事業会社ごとに顧客の多様なニーズに応じております。高品質なサービスをリーズナブルな料金で提供するアッシュ、ニューヨーク・ニューヨークなどのデザイン系サロンを中核に置き、定期的なヘアメンテナンスの需要拡大を背景にエコノミーな料金で施術サービスを行うChoki Petaブランドの出店展開も行っております。当社グループは、それぞれの事業会社・ブランドごとにより安心・安全な店舗の衛生管理を徹底した上で、営業活動を展開すると同時に、経営理念「地域のお客様に美と健康と若々しさを提供し、当社グループに関わるすべての人と共に幸福社会を築いていける会社づくりを目指す」を旗印に、グループの結束力を強化し、経営の効率化や地域一番店を目指すための諸施策を実施しております。

デザイン系サロンの新規顧客来店施策としては、SNSを利用したスタイリストの美容情報の発信強化や、新たなWebマーケティング戦略に基づいた施策を実施し、増員に繋げております。また、既存顧客を含めて、自社ホームページでの来店施策を重視し、サロンごとの特色を活かしたコラムの作成やスタッフ紹介など、その魅力を高め、閲覧数・閲覧時間の増加を図るとともに、Web予約システムによる集客強化に注力しております。

単価アップ並びに固定顧客増加の施策としては、他のサロンと比較した技術の優位性を体感していただくため、ワンランクアップのつや感を演出するカラー施術、デザイン性を重視したパーマ施術を強化していきます。また、美容室の雰囲気や対応力を重視する大人客を囲い込むための接客力の強化や付加価値メニューの取組みによる単価アップについても進めております。

更に、天然由来成分を可能な限り配合した、人や地球環境にやさしいオリジナルのヘアケア&スキンケアの新ブランド「ennic(エニック)」シリーズを2020年2月にアッシュとニューヨーク・ニューヨークの店頭にて販売開始し、現在では、外部ECサイトでの販売も行っております。今後は首都圏の大手百貨店でのポップアップ販売を行い、ブランド認知の深化を図る予定です。

メンテナンス系サロンのChoki Petaは、引き続き商業施設への出店を強化し、お客様の価値観やライフスタイルに密着したサービスを提供してまいります。2016年度より毎年平均10店舗の新規出店を継続しており、2020年度においては、9月末時点で、関東圏で6店舗、関西圏で2店舗出店しております。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における当社主要子会社のチェーン売上高は、株式会社アッシュ「以下、Ash」が前年同期比83.3%、株式会社ニューヨーク・ニューヨーク「以下、NYNY」が同98.0%、株式会社スタイルデザイナー「以下、SD」が同90.6%、C&P「以下、C&P」が同90.9%となりました。また、当社主要子会社の入客数は、同87.6%となっております。以上により、当社グループチェーンの全店売上高合計は、11,842百万円(同86.9%)となっております。

当第3四半期連結累計期間における当社グループの連結子会社店舗数は、332店舗(Ash127店舗、NYNY40店舗、SD98店舗、C&P57店舗、株式会社ダイヤモンドアイズ10店舗)となり、海外店舗数1店舗(シンガポール共和国)を加え、当社グループ店舗数は、333店舗となりました。なお、NYNYが展開する関西圏のChoki Petaの店舗数は、10店舗となっており、グループにおけるFC店舗数は、226店舗(Ash108店舗、NYNY18店舗、SD98店舗、C&P2店舗)となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は5,664百万円(前年同期比90.5%)、営業損失は11百万円(前年同期は営業利益325百万円)、経常利益は109百万円(同33.5%)となりました。また、感染症に係る臨時休業による損失339百万円を「感染症関連損失」(注)として特別損失に計上したことにより親会社株主に帰属する四半期純損失は235百万円(前年同期は親会社株主に帰属する四半期純利益179百万円)となりました。

当社グループは、美容室チェーン展開を行う事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。

(注) 当社グループ店舗の臨時休業中に発生した固定費について臨時性があると判断し特別損失に計上したものでその内訳は以下のとおりであります。

- ①株式会社アッシュのFC店舗への休業期間中における店舗設備使用料減免額等 144百万円
- ②当社グループ店舗の休業期間中における直営店の人件費 148百万円
- ③当社グループ店舗の休業期間中における直営店の家賃 33百万円
- ④当社グループ店舗の休業期間中における直営店の減価償却費 12百万円

## (2) 財政状態に関する説明

### (資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて、2,243百万円増加して5,289百万円となりました。

これは主として、現金及び預金の増加2,402百万円、売掛金の減少139百万円によるものです。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて、91百万円増加して5,741百万円となりました。

これは主として、新規出店、移転等による建物(純額)の増加51百万円、工具、器具及び備品(純額)の増加56百万円によるものです。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて、2,335百万円増加して11,031百万円となりました。

### (負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて、2,526百万円増加して5,396百万円となりました。

これは主として、新型コロナウイルス感染症拡大の影響に伴う財政状態悪化のリスク対応策として調達した短期借入金3,150百万円、未払金の減少508百万円によるものです。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて、118百万円増加して3,000百万円となりました。

これは主として、設備投資資金として調達した長期借入金の増加124百万円によるものです。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて、2,644百万円増加して8,397百万円となりました。

### (純資産)

純資産は、前連結会計年度末に比べて、309百万円減少して2,633百万円となりました。

これは主として、親会社株主に帰属する四半期純損失235百万円の計上、配当金支出74百万円によるものです。

この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の33.8%から23.9%となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年12月期の業績予想につきましては新型コロナウイルス感染症拡大による影響を合理的に算定することが困難であったことから未定としておりました。

当社グループ店舗におきましては、新型コロナウイルス感染症により4月7日の緊急事態宣言の発令に合わせ、自主的に休業や営業時間の短縮等の対応を行ってまいりました。営業再開後も引き続き、感染拡大防止策としてアルテグループ「3Sオペレーション」の徹底を図っております。

依然として新型コロナウイルス感染症の収束時期は見通せず、当社グループを取り巻く経営環境は引き続き不透明な状況ではありますが、今後緩やかに経済活動が回復することを前提に、現段階において入手可能な情報に基づき業績予想を算定し、公表いたしました。

配当予想につきましては、従来からの基本方針である経営体質の強化及び将来の事業展開のために必要となる内部留保を確保しつつも、配当性向25%を基準に安定的かつ業績向上に見合った配当を継続していくことに変更はありませんが、2020年12月期の通期業績予想は大変厳しい見通しを想定しております。現段階の業績見通し、財務の安定性、株主の皆さまへの安定配当等を勘案し、期末配当予想は前期実績から5円50銭減配の1株当たり2円とさせていただきます。

このような厳しい状況ではありますが、当社グループとしましては、従業員の雇用維持を前提として、金融機関からの資金調達による手元資金の確保によって当社グループ経営の安定化を図るとともに、不要不急のコスト削減、役員報酬及び執行役員の給与一部返上、年間設備投資額の再考、店舗賃料削減交渉などの対策を進め固定費の圧縮を図ることで、収益の確保に注力してまいります。

詳細は2020年10月28日に公表いたしました「2020年12月期業績予想および配当予想、株主優待実施内容の変更に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>		
現金及び預金	1,575,830	3,978,787
売掛金	481,386	342,063
商品	79,719	90,655
貯蔵品	17,395	35,641
その他	896,936	846,152
貸倒引当金	△5,110	△3,521
流動資産合計	3,046,158	5,289,778
<b>固定資産</b>		
<b>有形固定資産</b>		
建物	6,238,343	6,431,809
減価償却累計額及び減損損失累計額	△3,419,992	△3,562,433
建物(純額)	2,818,351	2,869,376
車両運搬具	26,623	26,623
減価償却累計額	△11,137	△15,397
車両運搬具(純額)	15,485	11,225
工具、器具及び備品	1,334,511	1,399,754
減価償却累計額及び減損損失累計額	△928,569	△937,085
工具、器具及び備品(純額)	405,941	462,668
土地	134,200	136,182
リース資産	18,021	18,021
減価償却累計額	△750	△3,003
リース資産(純額)	17,270	15,018
建設仮勘定	22,069	82
有形固定資産合計	3,413,319	3,494,553
<b>無形固定資産</b>		
のれん	220,414	247,368
その他	78,179	74,233
無形固定資産合計	298,593	321,601
<b>投資その他の資産</b>		
敷金及び保証金	1,433,608	1,385,728
その他	512,353	546,371
貸倒引当金	△8,301	△6,815
投資その他の資産合計	1,937,660	1,925,284
固定資産合計	5,649,574	5,741,439
資産合計	8,695,733	11,031,218

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	95,252	71,922
短期借入金	150,000	3,300,000
1年内返済予定の長期借入金	511,780	557,896
未払金	1,717,352	1,209,314
未払法人税等	118,382	16,018
賞与引当金	4,799	12,973
資産除去債務	5,024	58,657
その他	267,920	169,801
流動負債合計	2,870,510	5,396,583
固定負債		
長期借入金	2,037,285	2,161,800
退職給付に係る負債	73,103	73,387
資産除去債務	560,761	550,788
株主優待引当金	4,386	5,865
その他	206,624	209,074
固定負債合計	2,882,161	3,000,916
負債合計	5,752,672	8,397,499
純資産の部		
株主資本		
資本金	498,000	498,000
資本剰余金	860,292	860,292
利益剰余金	1,697,375	1,387,501
自己株式	△113,425	△113,425
株主資本合計	2,942,241	2,632,367
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	819	1,351
その他の包括利益累計額合計	819	1,351
純資産合計	2,943,061	2,633,718
負債純資産合計	8,695,733	11,031,218

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)
売上高	6,257,256	5,664,741
売上原価	4,497,488	4,290,912
売上総利益	1,759,768	1,373,829
販売費及び一般管理費	1,434,362	1,385,081
営業利益又は営業損失(△)	325,406	△11,251
営業外収益		
受取利息	1,949	1,803
受取手数料	5,238	6,448
助成金収入	4,705	116,309
その他	3,948	12,996
営業外収益合計	15,840	137,558
営業外費用		
支払利息	10,875	13,883
その他	3,259	2,857
営業外費用合計	14,134	16,740
経常利益	327,112	109,566
特別利益		
固定資産売却益	—	100
助成金収入	—	79,567
特別利益合計	—	79,667
特別損失		
固定資産売却損	951	—
固定資産除却損	5,066	1,043
店舗閉鎖損失	13,118	17,918
減損損失	—	58,424
資産除去債務履行差額	8,714	18,523
感染症関連損失	—	339,125
特別損失合計	27,851	435,036
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	299,261	△245,802
法人税、住民税及び事業税	120,812	55,544
法人税等調整額	△812	△65,724
法人税等合計	120,000	△10,180
四半期純利益又は四半期純損失(△)	179,261	△235,622
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	179,261	△235,622



(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	179,261	△235,622
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△151	531
その他の包括利益合計	△151	531
四半期包括利益	179,109	△235,090
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	179,109	△235,090

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(会計上の見積り)

第2四半期連結会計期間の四半期報告書(追加情報)に記載した新型コロナウイルス感染症の影響に関する仮定及び会計上の見積りについて、重要な変更はありません。